

地域文化の向上を目指して 高山市、名古屋芸大と連携協定



市と名古屋芸術大学（北名古屋市）は3月22日、文化や芸術などを中心とした包括的な連携協定を結び、市役所で竹本義明学長（写真⑤）と國島市長が協定書を取り交わしました。

同大は市民ミュージカルでの演技指導や学生の出演など、かねてから高山での文化活動に携わっていました。協定を契機に、地域文化の向上にますます期待が高まります。

被災地に届いたみんなの願い 集まった救援物資は2,308箱に



3月24日から4月6日までの間、飛騨3市1村のみなさんから募集した東日本大震災の救援物資は、食品や生活用品など、段ボール2,308箱にも及びました。集積場所のJAひだ高山トマト選果場（漆垣内町）からは、岩手県へ2回送ったほか、気仙沼市（宮城県）などにも送ることができました。

これまで救援物資をご提供いただいた多くのみなさん、また集積場所などでボランティアとしてご活躍いただいたみなさんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

学び舎、新しく生まれ変わる 本郷小と宮中で改築工事完成

本郷小学校と宮中学校の改築工事がこのほど終わり、それぞれ完成式が行われました。

本郷小は昭和50年に建設した屋内運動場の老朽化のため改築したもので、新しい屋内運動場は鉄筋コンクリート、アリーナ面積は735㎡で従来より広がっています。

宮中は市内で最も古い昭和25年築の校舎と昭和46年築の屋内運動場を、老朽化したため改築したもので、校舎は木造一部鉄骨造の2階建て。一方、屋内運動場は鉄筋コンクリート、アリーナ面積は896㎡でこちらも従来より広がっています。

エコ対策として、太陽光発電や水洗トイレに雨水を利用しているほか、ペレットストーブを全室に導入しているのが特徴です。また図書室には旧校舎の建築材を床と天井、腰壁に再利用しており、生徒が長年磨き続けた床材と思い出を残した新校舎になりました。



⑤ 本郷小学校
屋内運動場（左側）



④ 旧校舎の建築材が
使われている
宮中学校の図書室

⑥ 宮中学校校舎と
屋内運動場

がんばろう日本！
飛騨高山は東日本を
応援しています

飛騨地域から元気を発信！

飛騨首長連合

飛騨首長連合（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）は、被災地や被災者への支援に全力で取り組んでいます。

長期化する震災復興を飛騨地域から支え続けていくためにも、この地域の人々や経済が元気を出して、一丸となって取り組んでいきましょう。

これからもご理解とご協力をお願いします。

東日本大震災の各支援を受付中

● 義援金（日本赤十字社）

募金箱は市役所本庁、各支所に設置
（福祉課 ☎35-3139）

● 災害ボランティアの登録

被災地で活動いただけるボランティアの登録は、飛騨高山ボランティア支援センター（社会福祉協議会内 ☎32-8789）まで